

交絡への対処

臨床研究の中でもとくに観察研究においてはほぼ常に起こっていると言ってもよい”交絡”に対して、何も対処をしない場合にはいわゆる因果効果の推定にバイアスが生じることが知られています。

本セミナーでは交絡の定義とともに、その対処法についていくつか方法を紹介し、とくに近年よく用いられる傾向スコアを用いた解析における注意点等を概説します。



講師：山本 紘司

(次世代臨床研究センター 統計解析室)

日時：2022年 **12月16日(金)** (90分セミナー)

17時30分～19時00分

主な対象者：研究責任者・研究分担者を含め特定臨床研究等、医師主導治験、先進医療を複数試験実施または複数年従事している者

参加ご希望の方は、下記 URL または QR コードよりご登録下さい。

URL : <https://bit.ly/30Kogo0>

臨床研究セミナーにつき、通常は1回90分セミナーとしておりますが、今年度のセミナーは、30分・60分・90分のもものが混在することが予想されます。

研究責任者/研究分担者/研究協力者・支援者

それぞれの役割に応じたコースのうちから、必要時間分を受講ください。

また、今年度はZoom開催となりますので、可能な方はカメラONでのご参加をお願いします。



認定

本セミナーは
学内「受講証明証」
対象セミナーです。

予定は変更となる可能性があります。最新の情報は、Y-NEXTのホームページまたはY-NEXT通信(不定期)をご確認ください。

次世代臨床研究センター 教育研修室・臨床研究推進担当

Tel: 045-370-7933(内線:3559)

Fax: 045-370-7943

Mail: ynextedu@yokohama-cu.ac.jp

<http://www-user.yokohama-cu.ac.jp/~ynext/>